

# 電子商取引安全技術研究組合（略称：ECSEC）の概要

- **設立年月日**：平成12年2月28日
- **理事長**：植村泰佳（（株）ECSEC Laboratory 取締役）
- **組合員**：8企業
- 株）ECSEC Laboratory、共同印刷（株）、（株）東芝、凸版印刷（株）、（株）日立製作所、ルネサスエレクトロニクス（株）、大日本印刷（株）、（株）Wave Technology
- **事業費**：平成29年度4.13億円
- **事業の概要**：電子商取引に係る情報セキュリティに関する試験研究と技術指導。

## ○組合設立の目的

組合員との共同による電子商取引に関する情報技術を用いた製品・システムのセキュリティに関する試験研究および組合員の情報セキュリティ技術向上支援。

## ○実用化の方向性

第3期試験研究計画の柱である「ICカード（ICチップ）のセキュリティ評価技術開発と評価環境整備」は、日本国内では評価できず欧州に依存していたセキュリティ評価につき組合員企業と関係機関等と連携し評価技術を習得、実証評価を経て、初めて国内でもICチップのセキュリティ評価ができる体制を確立。機器間相互認証（M2M）用チップ等に分野を拡大し研究継続。

## ○事業化の目途の時期

ICカード等のハードウェアセキュリティ評価：24年度事業化完了。  
M2M用チップのセキュリティ研究は、27年度以降の事業化を想定している。



